

DCR-B形 可動コイル形電流継電器

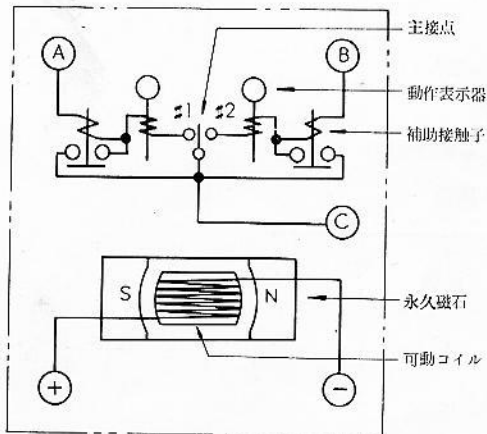
Type DCR-B Moving Coil Type Current Relay

本器は、直流回路における過電流および不足電流保護を目的とする可動コイル形の継電器で、回路の過電流、不足電流に応動して機器の保護または操作を行なう場合に使用します。

構造と動作

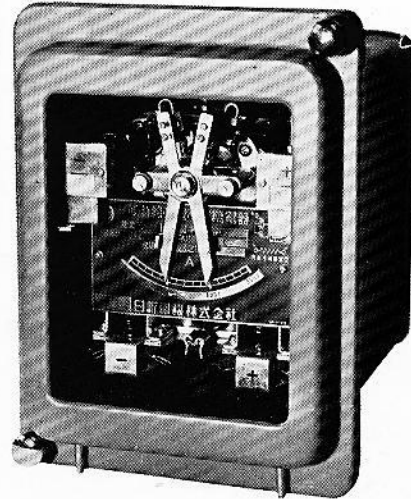
本器は可動コイル形の原理に基づくメータ・リレーの構造で、永久磁石の両極間におかれたコイルが円柱鉄心の周辺を回転しようようになっており、このコイルに電流が流れると永久磁石による磁束と鎖交するためトルクを生じます。可動コイルは回路に接続された分流器につながれているため、回路の電流に比例した動作トルクが発生し、制御スプリングのトルクと平衡状態を保つまで回転します。

したがって可動軸上には可動接点を、可動コイルの過電流側および低電流側回転方向にそれぞれ固定接点を設けておけば、回路電流に応動して接点を開閉することができます。



C 端子 → +
A 端子 → 過電流側
B 端子 → 不足電流側

第2図 内部接続図(裏面)



第1図 DCR-B形 可動コイル形電流継電器(埋込形)

本器では可動接点の左右にそれぞれ固定接点を設けており、この固定接点はレバーにより動かすことができ、目盛板上の電流値に任意に整定することができる構造としています。整定範囲は定格電流の80～120%です。

本器の定格端子電圧は60mVを標準とし、定格電流30A以下のものは分流器を本体に内蔵し、30A超過の場合は外付分流器と組み合わせて使用します。

接点回路には、主接点の保護および電流容量を増すために補助接触子を設けています。過電流動作側、不足電流動作側に補助接触子および動作表示器をそれぞれ二組設けており、その判別を容易にいたします。

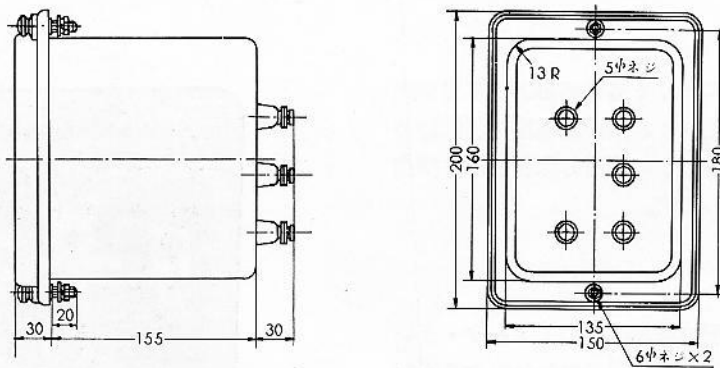
本器は30A超過の場合には、分流器(60mV)と組み合わせて使用しますから、必要な場合は何A分流器付とご明示下さい。なおこの場合、分流器継電器間のリード線は1.5mを付属します。

DCR-B形 可動コイル形電流継電器標準定格表

形式	定格	整定範囲	補助接触子 表示器	備考
DCR-B	各種	定格電流の80—120%	1A または 2A	埋込形

(注) 1. 重量は約3.8kgです。
2. 表面丸形、引出形も標準として製作しています。

外形寸法



第3図 DCR-B形 継電器外形寸法図(埋込形)

—ご注文に際しては次の事項をご指定下さい—

1. 形 状：埋込形、引出形、表面丸形の別
2. 用 途：使用回路
3. 定 格：○A、整定範囲 ○～○A
分流感要、不要の別
4. 制御回路：制御電源（またはしゃ断器定格）
5. そ の 他：標準外の仕様がある場合